

朝の礼拝

聖書 ヨハネによる福音書 15 章 5 節（新約聖書 194 頁）

私はぶどうの木、あなたがたはその枝である。人が私につながっており、私もその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。私を離れては、あなたがたは何もできないからである。

まことの豊かさ

この礼拝堂にもぶどうの絵や彫刻があります。ご存じですか。実は中学三年生以上はスタディーツアー（修学旅行）でぶどうを見ています。奈良の薬師寺を参観した時、金堂の薬師如来像の台座に葡萄唐草模様がありました。古代メソポタミア時代に大陸を経て日本へ伝えられたものです。ぶどうは東西文明をつなぐ富の象徴でした。

皆さんはぶどうの木を見たことがありますか。ぶどうはつる性の木で放っておくと地面を這うようになります。それで実をつけるために人間が手を入れ、棚などに絡ませるわけです。ですからぶどうは木自体にはあまり価値がなく、人間が手を入れることで価値が付いたわけです。そうして目に見える富、文明の象徴になりました。

しかしイエスはご自身を「まことのぶどうの木、あなたがたはその枝である」とたとえました。「まこと」とは、「豊かな実」とは何でしょうか。それは目に見えるぶどうの木とは対照的に、目に見えない主なる神の愛につながるまことの喜び、互いに愛し合う喜びが豊かな実りなのです。

私たちは目に見えて美しいもの、触れて、口にして甘味なものに憧れ、心奪われます。しかしまことの豊かさとは富や繁栄ではなく、神様の愛という目に見えないつながり、主の平和なのです。実りは目に見える結果ではなく、神様の導きによる不思議な出会い、関わりの喜びを言っているのです。

(しばらく黙祷しましょう)

慈しみ深い主よ、私たちは十字架へ向かうあなたの受難と復活を覚え受難節を過ごしています。どうか日頃の生活をふり返り、自分自身を見つめ、あなたに励まされて、互いに愛し合う道を歩ませてください。本日の実力テストに向かう生徒、教職員に正しく臨めるように導いてください。またスクールリング贈呈式を迎え、卒業式を控える高校三年生を祝福してください。また愚かにも争いを続ける人々に悔い改めの心を与え、嘆き悲しむ人々の祈りを省み、共に支え合い、ひと時でも早くあなたの平和に与らせてください。どうか今日一日もすべてをあなたに委ね、よき学びの時を過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン